

<10月16日 朝会 校長講話「読書月間について」>

佐敷小学校のよい子の児童のみなさん「おはようございます」。今日は、全校朝会で校長先生のお話です。では、これから校長先生のお話を始めます。

さて、問題です。この人はだれかわかる人いますか？ヒントを出していきますよ。

1つ目のヒントは、ディズニーランドを考えた人です。

2つ目のヒントは、ミッキーマウスやピーターパン、シンデレラなど多くのキャラクターを生み出した人です。

この人は、「ウォルト・ディズニー」です。このウォルト・ディズニーの有名な言葉に、こんな言葉があります。それは、宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、「？」(はてな)には多くの宝が眠っている。

では、ここでまた問題です。「？」(はてな)の中には、どんな言葉が入るのでしょうか？

①海 ②カレーライス ③本

①の「海」だと思ふ人。校長先生は、海は大好きでよく行きますが違います。

②の「カレーライス」だと思ふ人。校長先生はカレーライスが好きで給食にでるを楽しみにしていますが違います。

③の「本」だと思ふ人。これが正解です！

宝島の海賊たちが、盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。この言葉には続きがあって「そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。」と言っています。本には、宝を手にした時のような楽しいこと、嬉しいこと、ワクワクすることがたくさんあるということです。

では、佐敷小学校で「本」という宝が一番たくさんあるのはどこか分かりますか？そうです。図書室ですね。

では、ここで2つ目の問題です。

佐敷小学校の図書室には、何冊の本があるのでしょうか？

①約1000冊 ②約1万冊 ③約50万冊

正解は、②の約1万冊です。ちなみに③の「約50万冊」は、日本で一番本の数が多い国立国会図書館にある本の数です。日本で出版されているほとんど全すべての本があるそうです。毎年、新しい本は出版されているので、毎年80万冊ずつ増えているそうです。すごいですね。

今度は、校長先生の好きな本を紹介します。宮沢賢治という人の書いた「よだかの星」「銀河鉄道の夜」です。「よだかの星」は、よだかは心優しい鳥ですが、醜かったので嫌われていました。名前を変えなければ殺すと鷹に脅されたよだかは絶望し、星に向って空へと飛び立ちました。「銀河鉄道の夜」は、主人公のジョバンニは貧しい家庭を支えるために働いています。ケンタウル祭の夜に銀河鉄道の夢を見て、その夢の中で友人のカムパネルラと一緒に銀河を旅をするというものです。詳しいことは、本を読んでみてください。宮沢賢治の作品には、他にも「セロ弾きゴーシュ」「注文の多い料理店」「やまなし」「風の又三郎」などたくさんあります。ぜひ、図書館で探してみてくださいね。

今月は、読書月間です。さしきっ子のみなさんは、読書をしていますか？

他にも、今月の第3日曜日の「家庭の日」に、家族に読み聞かせをしてもらったり、自分で読んであげたりなど読書をする活動をしてはどうでしょうか？

ウォルトディズニーが、「本には多くの宝が眠っている」と言っていました。本には、宝を手にした時のような楽しいこと、嬉しいこと、ワクワクすることがたくさんあるということです。

さしきっこのみなさんにも、そんな経験をぜひしてほしいと思っています。

佐敷っ子のみなさん、今日は今月の読書月間から、本についてのお話をしました。

では、これで校長先生のお話を終わります。最後まで、ちゃんと聴いてくれてありがとうございました。

令和6年10月16日 佐敷小学校 校長 慶田盛 元